

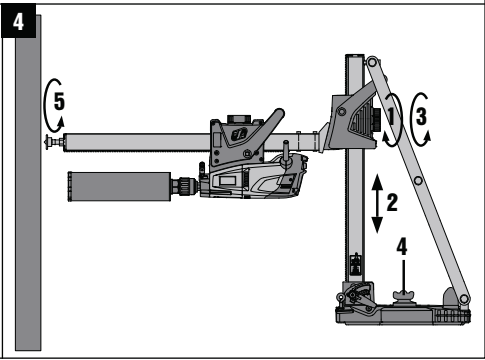
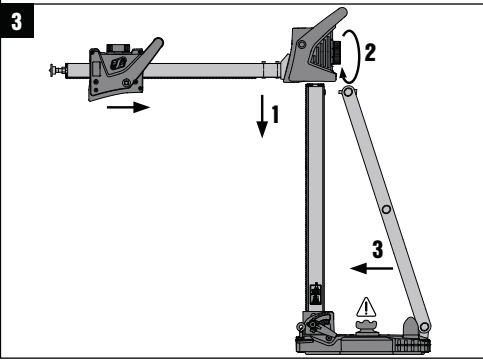
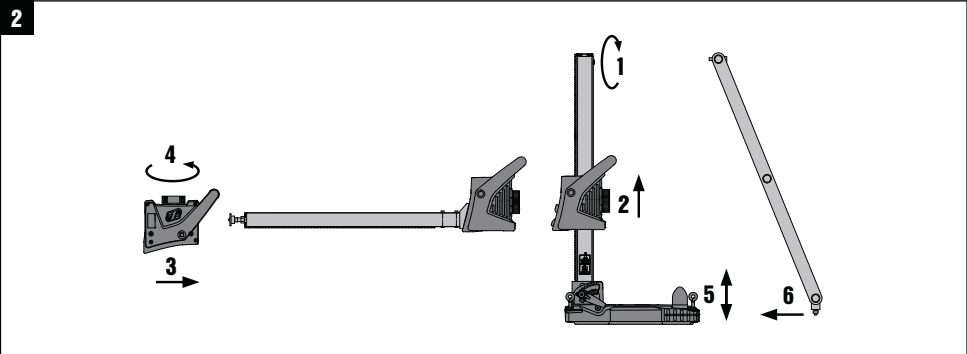
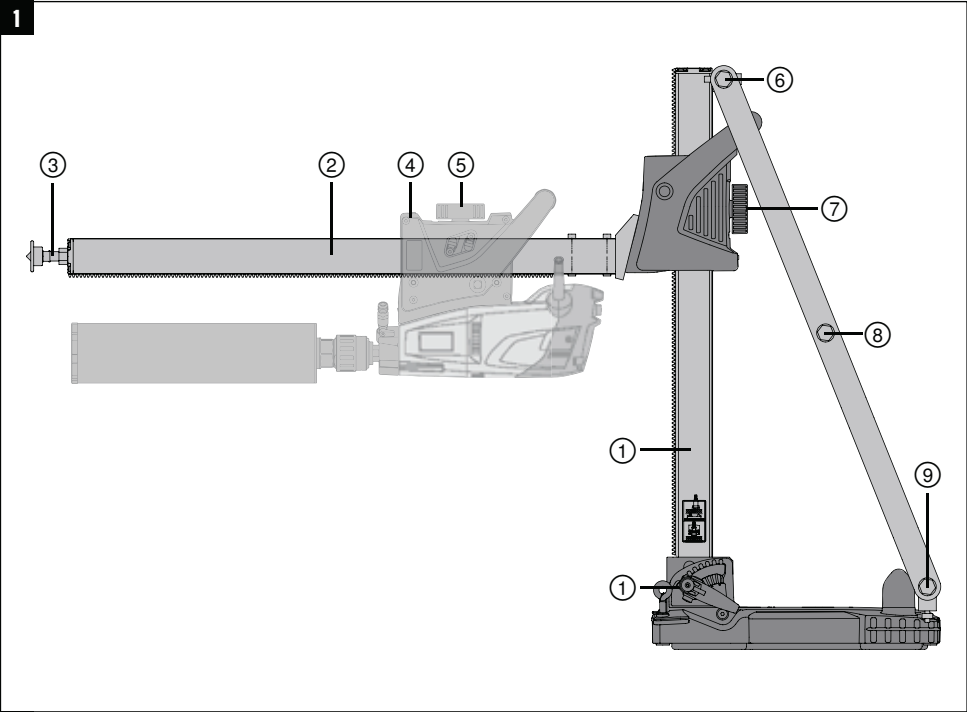
HILTI

DD-ST-150/160-CCS

取扱説明書

ja

CE



オリジナル取扱説明書

DD-ST-150/160-CCS レールクロス

ja

ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。

この取扱説明書は必ず本体と一緒に保管してください。

他の人が使用する場合には、本体と取扱説明書を一緒にお渡しください。

目次	頁
1. 一般的な注意	1
2. 製品の説明	2
3. 製品仕様	2
4. 安全上の注意	3
5. ご使用方法	3
6. 手入れと保守	5
7. 本体に関するメーカー保証	5

■ この数字は該当図を示しています。図は二つ折りの表紙の中にあります。取扱説明書をお読みの際は、これらのページを開いてください。

レールクロス **■**

- ① ドリルスタンド
- ② レールクロス
- ③ ジャックスクリュー
- ④ 穿孔工具キャリッジ
- ⑤ 穿孔工具キャリッジロック機構
- ⑥ ストッパーネジ
- ⑦ レールクロスキャリッジロック機構
- ⑧ サポートレッグ
- ⑨ レベル調整スクリュー

1. 一般的な注意

1.1 安全に関する表示とその意味

危険

この表記は、重傷あるいは死亡事故につながる危険性がある場合に注意を促すために使われます。

警告事項

この表記は、重傷あるいは死亡事故につながる可能性がある場合に注意を促すために使われます。

注意

この表記は、軽傷あるいは所持物の損傷が発生する可能性がある場合に使われます。

注意事項

この表記は、本製品を効率良く取り扱うための注意事項や役に立つ情報を示す場合に使われます。

1.2 記号の説明と注意事項

義務表示



保護メガネを
着用してく
ださい



保護手袋を
着用してく
ださい



保護ヘル
メットを着
用してくだ
さい



耳栓を着
用してくだ
さい



安全靴を着
用してくだ
さい

略号



ご使用前
に取扱説明
書をお読み
ください

2. 製品の説明

2.1 正しい使用

DD-ST-150/160-CCS はプロ仕様で製作されています。

DD-ST-150/160-CCS は DD-ST 150-U CTL および DD-ST 160 CTL ドリルスタンドとともに使用して、ダイヤモンドコアビットを（手持ちによるのではなく）スタンドでガイドして鉋物製の母材に穿孔するためのもので、特に壁面への穿孔作業に適しています。レールクロスを使用する際にはドリルスタンドを使用し、アンカーを確実に母材に打ち込んでください。

母材に対して斜めに穿孔することはできません。

取扱説明書に記述されている使用、手入れ、保守に関する事項に留意してご使用ください。けがの可能性を防ぐため、必ずヒルティ純正の、アクセサリや先端工具のみを使用してください。

本体はプロ仕様で製作されており、本体の使用、保守、修理を行うのは、認定、訓練された人のみに限ります。これらの人は、遭遇し得る危険に関する情報を入手していなければなりません。本体および付属品の、使用法を知らない者による誤使用、あるいは規定外使用は危険です。

各国の労働安全衛生法に従ってください。
本体の加工や改造は許されません。

3. 製品仕様

技術データは予告なく変更されることがあります。

レールの長さ	927 mm
レールクロスの重量（サポートレッグを含む）	14.8 kg
コアビット径（DD 150-U 使用時）	Max. 162 mm
コアビット径（DD 160 使用時）	Max. 202 mm

4. 安全上の注意

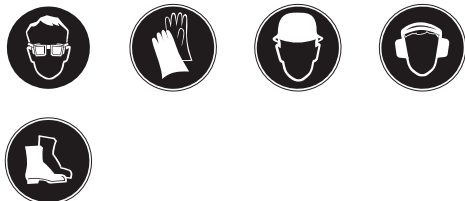
4.1

警告事項！ 安全上の注意および指示事項をすべてお読みください。安全上の注意および指示事項に従わない場合、感電、火災、重度のけがをまねく恐れがあります。安全上の注意および指示事項が書かれた説明書はすべて大切に保管してください。安全上の注意で使用する用語「電動工具」とは、お手持ちの電動ツール（電源コード使用）およびバッテリーツール（コードレス）を指します。

4.2 作業環境に関する安全

- 作業場はきれいに保ち、十分に明るくしてください。ちらかった暗い場所での作業は事故を起こす恐れがあります。
- 電動工具の使用時、子供や無関係者を作業場へ近づけないでください。作業中に気がそらされると、本体のコントロールを失ってしまう恐れがあります。
- 梯子上で作業してはなりません。

4.3 作業者に関する安全



- 電動工具を使用の際は、油断せずに十分注意し、常識をもった作業をおこな

てください。疲れている場合、薬物、医薬品服用およびアルコール飲用による影響下にある場合には電動工具を使用しないでください。電動工具使用中の一瞬の不注意が重傷の原因となることがあります。

- 本体使用中、作業者および現場で直近に居合わせる人々は保護メガネ、保護ヘルメット、耳栓、保護手袋および安全靴を着用しなければなりません。

4.4 電動工具の使用および取扱い

- 母材に対して斜めに穿孔しないでください。
- 電動工具は慎重に手入れしてください。可動部分が引っ掛かりなく正常に作動しているか、電動工具の運転に影響を及ぼす各部分が破損・損傷していないかを確認してください。電動工具を再度ご使用する前に、損傷部分の修理を依頼してください。発生事故の多くは保守管理の不十分な電動工具の使用が原因となっています。
- 電動工具、アクセサリ、先端工具などは本説明書内の指示に従って使用してください。この際、作業環境および用途に関してもよくご注意ください。指定された用途以外に電動工具を使用すると危険な状況をまねく恐れがあります。
- 電動工具の修理は必ず認定サービスセンターにお申し付けください。また、必ず純正部品を使用してください。これにより電動工具の安全性が確実に維持されます。

5. ご使用方法

警告事項

複数のレールクロスを組み合わせて使用することはできません。

警告事項

ドリルスタンドのコラムを斜めにしてサポートレッグを使用しないことは許されません。

5.1 レールクロスの組立て 2

- ドリルスタンド終端のストッパーネジを取り外します。

- DD 150-U 穿孔工具または DD 160 穿孔工具のキャリッジをドリルスタンドから引きます。
- DD 150-U 穿孔工具または DD 160 穿孔工具のキャリッジをレールクロスへとスライドさせます。
- 穿孔工具のキャリッジをキャリッジロック機構でロックします。

- グリップのところにあるベースプレートの2本のレベル調整スクリューを取り外します。
- サポートレッグを同送の2本のスクリューでベースプレートに取り付けます。
- 2本のレベル調整スクリューを再び取り付けます。

5.2 ドリルスタンドの固定

警告事項

ドリルスタンドをバキュームを使用して母材に固定することは許可されません。

ドリルスタンドはアンカーを使用して母材に固定してください（本体の取扱説明書を参照してください）。

注意事項

スタンドのアンカーによる固定には、穿孔する母材から 1220 mm 離れた位置にアンカーを打ち込んでください。

5.3 レールクロスのドリルスタンドへの固定

3

- 穿孔工具および / またはキャリッジの取り付けられたレールクロスをドリルスタンドへとスライドさせます。
- レールクロスのキャリッジをキャリッジロック機構でロックします。
- レール終端のストッパーネジの位置にサポートレッグを固定します。

5.4 DD 150-U 本体のレールクロスへの固定

DD 150-U 本体をキャリッジに固定します（本体の取扱説明書を参照してください）。

5.5 レールクロスの支持 4

- レールクロスのロックを緩めます。
- レールクロスを希望の位置へ動かします。
- レールクロスのキャリッジをキャリッジロック機構でロックします。
- ドリルスタンドの固定を少し緩めてドリルスタンドを希望の位置にし、再び固定します（本体の取扱説明書を参照してください）。

- レールクロスをジャックスクリューを使用して母材に固定します。
注意事項システムが確実に固定されていることを確認してください。

5.6 穿孔

本体の取扱説明書を参照してください。

5.7 レールクロスのドリルスタンドからの取外し

- DD 150-U をキャリッジから取り外します（本体の取扱説明書を参照してください）。
- ジャックスクリューを母材から取り外します。
- レール終端のサポートレッグを取り外します。
- レールクロスのキャリッジロック機構を緩めます。
- レールクロスをドリルスタンドのコラムから動かします。

5.8 ドリルスタンドの母材からの取外し

本体の取扱説明書を参照してください。

5.9 サポートレッグの取外し

- グリップのところにあるベースプレートの2本のレベル調整スクリューを取り外します。
- サポートレッグをベースプレートから取り外します。
- 2本のレベル調整スクリューを再び取り付けます。

5.10 本体をレールクロスから取り外してドリルスタンドに取り付ける

- レールクロスのところで穿孔工具のキャリッジロック機構を緩めます。
- DD 150-U 穿孔工具または DD 160 穿孔工具のキャリッジをレールクロスから引き抜きます。
- DD 150-U 穿孔工具または DD 160 穿孔工具のキャリッジをドリルスタンドへとスライドさせます。
- ドリルスタンド終端のストッパーネジを再び取り付けます。

6. 手入れと保守

危険

本体の電源プラグをコンセントから抜きま
す。

6.1 金属部品の手入れ

レールクロスの表面に付着した汚れを取り
除きます。時折、油を染みこませた布で表面
を保護してください。

ja

7. 本体に関するメーカー保証

ヒルティは提供した本体に材質的または、製造
上欠陥がないことを保証します。この保証は
ヒルティ取扱説明書に従って本体の操作、取り
扱いおよび清掃、保守が正しく行われている
こと、ならびに技術系統が維持されていること
を条件とします。このことは、ヒルティ純
正の、消耗品、付属品、修理部品のみを本体
に使用することができることを意味します。

この保証で提供されるのは、本体のライフ
タイム期間内における欠陥部品の無償の修理
サービスまたは部品交換に限られます。通常
の摩耗の結果として必要となる修理、部品交
換はこの保証の対象となりません。

上記以外の請求は、拘束力のある国内規則が
かかる請求の排除を禁じている場合を除き一

切排除されます。とりわけ、ヒルティは、本
体の使用目的の如何に関わらず、使用した
若しくは使用できなかったことに関して、
またはそのことを理由として生じた直接的、
間接的、付随的、結果的な損害、損失また
は費用について責任を負いません。市場適合
性および目的への適合性についての保証は明
確に排除されます。

修理または交換の際は、欠陥が判明した本体ま
たは関連部品を直ちに弊社営業担当またはヒ
ルティ代理店・販売店宛てにお送りください。

以上が、保証に関するヒルティの全責任であ
り、保証に関するその他の説明、または口
頭若しくは文書による取り決めは何ら効力を
有しません。



Hilti Corporation

LI-9494 Schaan

Tel.: +423 / 234 21 11

Fax: +423 / 234 29 65

www.hilti.com

Hilti = registered trademark of Hilti Corp., Schaan

W 4066 | 0911 | 00-Pos. 1 | 1

Printed in Germany © 2011

Right of technical and programme changes reserved S. E. & O.

2033680 / A



2033680